

「野川河床整備工事(北その5-2)」工事説明会の議事要旨

1. 開催概要

日 時：令和6年10月16日(水) 19:00～20:15

場 所：調布市大町ふれあいの家 大集会室

参加者：6名

2. 主なご質問・ご意見と都の回答(要旨)

番号	ご質問・ご意見	都の回答
1	前回工事の完了後に高水敷が石だらけになっており歩きづらい。	高水敷の石については、現地を確認した上で、今後対策を検討する。
2	高水敷の石対策は、いつ、どのように周知されるのか。	高水敷の掘削が始まる12月までに受注者と協議し、対策を決めて工事現場車両出入口の脇に掲示する。
3	既に工事が完了した範囲も歩きづらいため、対策を講じてほしい。	本工事の範囲外の対策についても、今後検討する。
4	本工事は前回の工事と工事範囲が変わっていない。やり直しなのか。	やり直しではない。前回の工事は、途中で終わらせたため、本工事において残りの範囲を実施する。工事を終わらせた理由は、河床掘削土内に環境基準値を微量に上回る有害物質が検出され、その不良土の搬出に向けた調整に時間を要したためである。
5	微量の有害物質があったとのことだが、何が出たのか。また、どうして出たのか。	微量の鉛が検出されたが、工事で適切に搬出している。鉛は関東に広く分布する物質であり、自然由来と考えられる。
6	工事が1年遅れているということか。今後の上流側の工事も、これからずっと1年ずつ遅れるのか。	その通りである。
7	前回の工事では、箕和田橋下流部で、埋戻し時に不透水層の設置を行っているようには見えなかった。	その範囲は、本工事において不透水層の設置を行う。
8	前回工事では8時前に工事を行っていた。	本工事は時間(8時から18時)を守って工事を行う。
9	土曜・祝日に作業を行う場合、どのように周知を行うのか。	直前の月曜日に、工事現場車両出入口の脇に週間工程表を掲示して周知する。
10	前回の工事では、ポンプの空回り音や発電機音が大きかったため、対策を講じてほしい。	発電機をできるだけ使用せず、東京電力の外部電源を引き込むことでポンプを動かすことを考えている。また、ポンプの設置方法を工夫し、ポンプの音を小さくする。
11	これまでの工事では、工事完了後に高水敷が裸地になっているが、環境は元に戻るのか。	一時的には裸地となってしまいが、その後、植生が回復していることを環境調査により確認している。

12	工事車両搬出入路の副ルート(説明資料P24)は大型車両が通行できるのか。	通行できる車両を使用して工事を行う。
13	誘導員の配置は、資料にあるように二人で行われるのか？	工事車両が通行する場合は、車両出入口と大町通りにそれぞれ一人の誘導員を配置する。
14	鹿島グラウンド前のT字路は見通しが悪く危険である。	前回の工事では、車両出入口の誘導員が車両とともにT字路に移動しながら誘導を行っていた。本工事でも、同様に車両を誘導し、安全に配慮する。
15	上流区間の事業説明会はいつ行われるのか。	次回の事業説明会は、来年度に行う予定である。
16	前回の工事説明会で、これまでの環境調査結果などを報告してほしいと要望したが、それは次の事業説明会で説明してもらえるのか。	次の事業説明会にて説明する。
17	来年度工事でも同じ車両出入口を使用するのか。	来年度工事の車両出入口は、本工事とは別の大町橋下流の緑地を考えている。来年度工事の説明会において説明したい。